

平成24年7月九州北部豪雨について

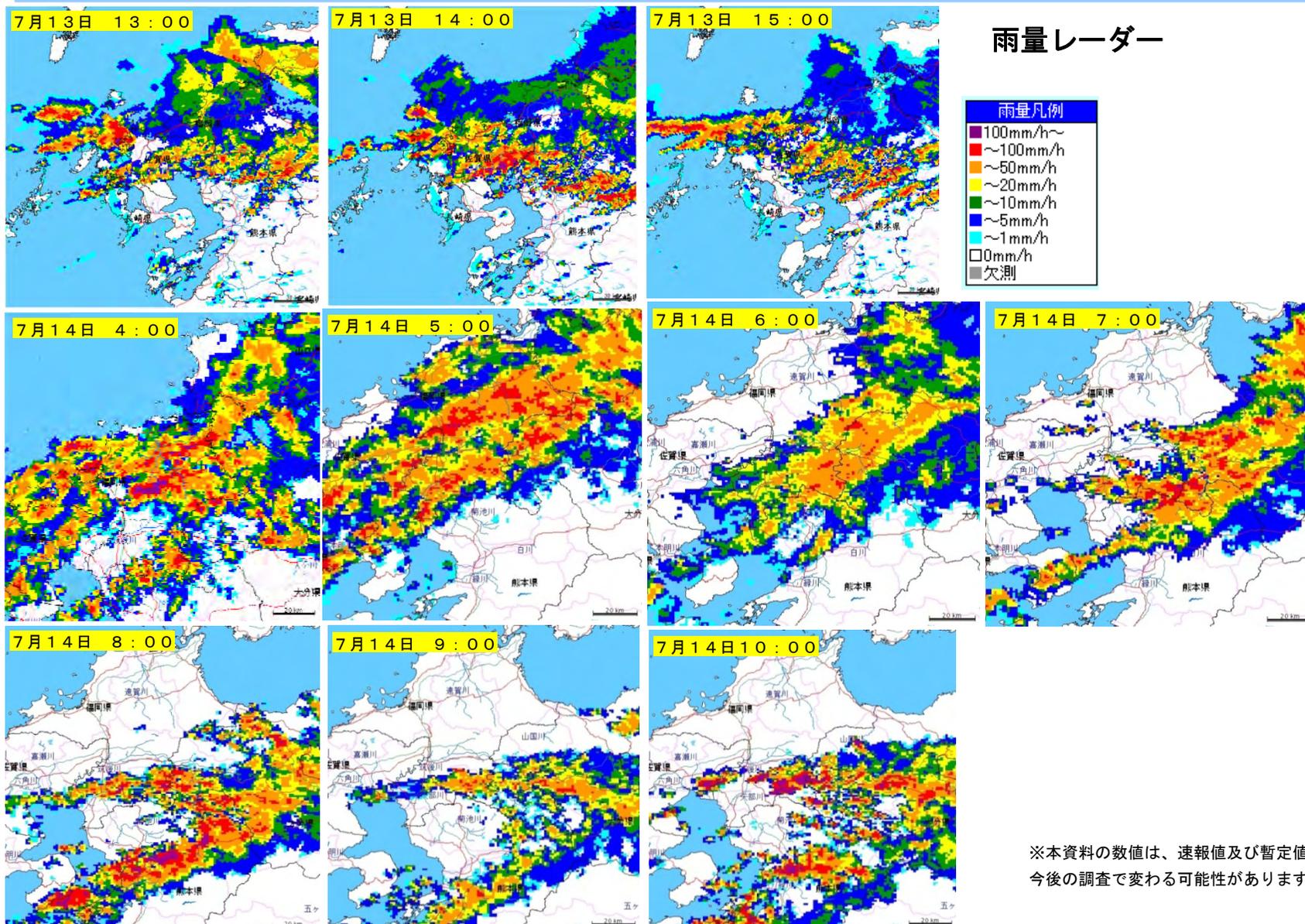
小石原川ダム建設事業

平成24年8月10日

国土交通省 九州地方整備局
独立行政法人 水資源機構

平成24年7月九州北部豪雨における降雨の状況（広域）

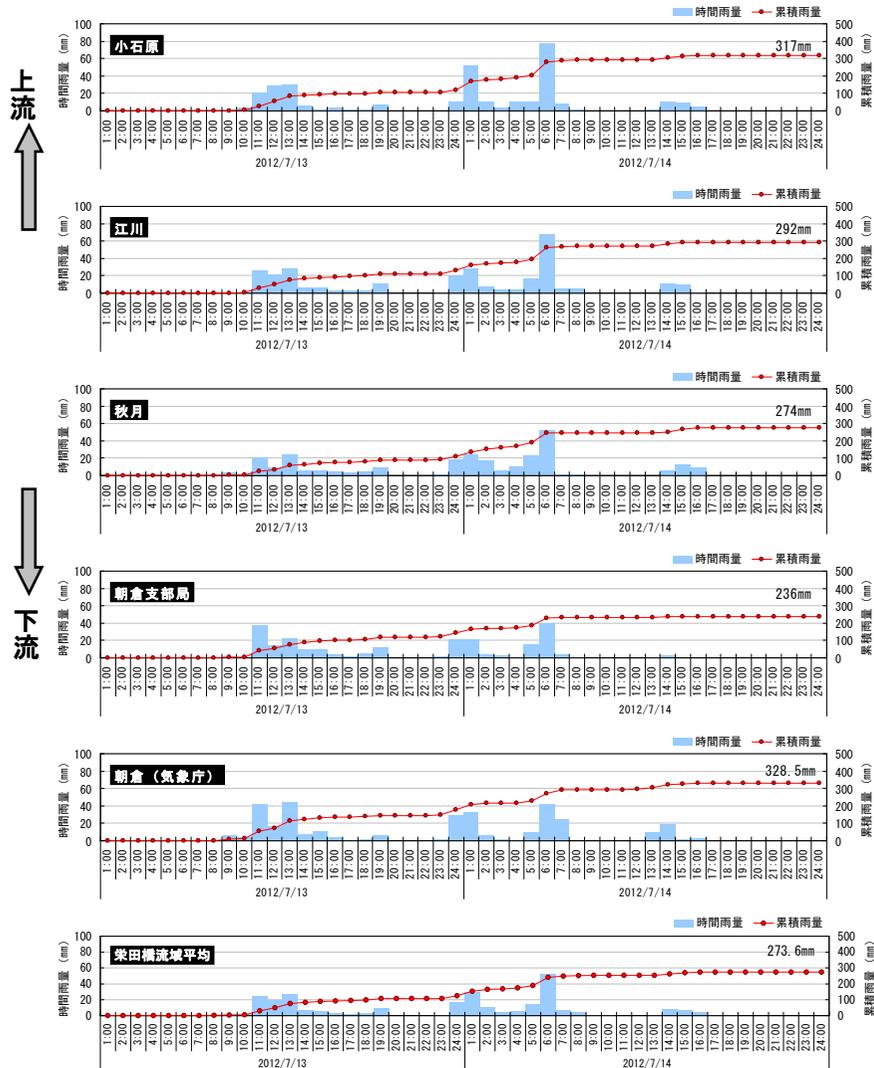
7月13日(金)の昼から夕方にかけて、九州北部の佐賀県から福岡県にかけて強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量となり、7月14日(土)の未明から昼頃にかけて、北部九州に強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量となった。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成24年7月九州北部豪雨における降雨の状況（小石原川流域）【速報】

- ・小石原川流域内の朝倉支部局（福岡県）、秋月（福岡県）、江川（水機構）、小石原（水機構）など含む栄田橋上流域の流域平均雨量（7/13～14）は273.6mm（既往第10位）を記録した。
- ・小石原地点における日最大1時間降水量は78mmを記録した。



◆雨量観測所の位置図



地点名	2日間雨量	最大1時間雨量
小石原（水資源機構）	317mm	78mm
江川（水資源機構）	292mm	68mm
秋月（福岡県）	274mm	52mm
朝倉支部局（福岡県）	236mm	40mm
朝倉（気象庁）	328.5mm	44mm
栄田橋上流域平均	273.6mm	52.3mm

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成24年7月九州北部豪雨における被害の状況（小石原川流域）【速報】

洪水年	出水概要	被害状況
2012 平成24年 7月14日 (梅雨前線)	「平成24年7月九州北部豪雨」と命名された梅雨前線による出水により、朝倉気象観測所（気象庁）では7/13からの2日間雨量で328.5mm、日最大1時間降水量62.0mmを記録した。基準地点の栄田橋では、14日6時50分頃に水位が3.85mに達し観測史上最高を記録している。	床上浸水2戸、床下浸水24戸。朝倉市は、小石原川沿川住民（441世帯1,437名）に対して避難勧告を発令した（自主避難も含め避難者数は約100名）。なお、大刀洗町は周辺よりも地盤の高い自宅の方が安全と判断し、勧告は発出していない。 合流点から8km上流付近の左岸では、破堤には至らなかったが堤防の一部が崩れている。公共交通機関（西鉄甘木線、甘木鉄道線）は小石原川の水位上昇によって運休した。



合流点から19.8km上流の状況（7/14 7:30頃）



水防活動
(竹流し・土のう積み)



甘木鉄道橋付近の状況
(7/14 8:30頃)



大型土のうによる応急対策

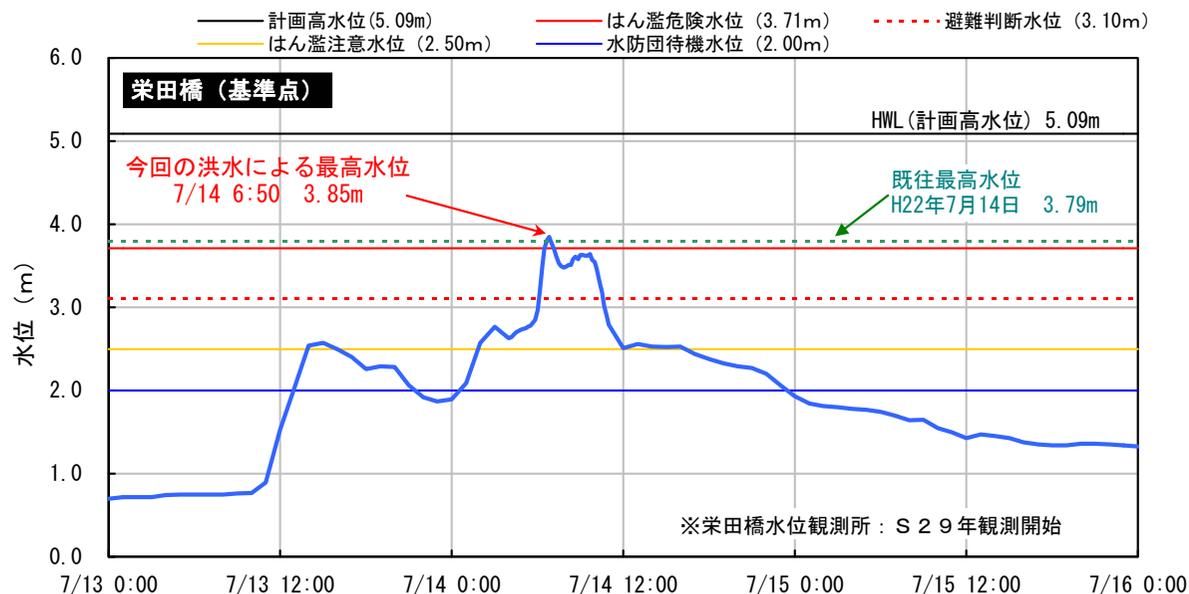
堤防の一部が崩壊

※竹流し：竹を流して流水を緩やかにし、川表の崩れを防ぐ水防工法
 ※被害状況は朝倉市（7/24時点）及び大刀洗町（7/25時点）への聞き取り等に基づく
 ※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

平成24年7月九州北部豪雨における河川水位の状況（小石原川流域）【速報】

- ・ 栄田橋観測所においては、平成22年の既往最高水位を上回る3.85mを記録した。

◆水位観測所の位置図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。